



おい、はま

No. 5

(家庭数配付) 発行：令和6年8月30日

処暑の候、保護者の皆様並びに地域の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

今年の夏休みも猛暑でしたが、久しぶりに会った子供たちは変わらず元気で、安心しました。挨拶を交わしながら一人一人の顔を見ていますと、学校ではできない様々な体験を通し、心身ともに大きく成長して戻ってきたように思いました。夏休みに充電した力を、これからの学校生活に活かすことを期待しています。

前期の後半は30日余りと短いですが、子供たち一人一人が目標に向けて努力し、達成感や満足感を得られるように引き続き指導に当たっていきます。

保護者の皆様並びに地域の皆様には、今後とも本校の学校教育にご理解、ご協力をいただきますよう、よろしく願います。

*マリーンズベースボールチャレンジ(7/4)

マリーンズ・ベースボールアカデミーのテクニカルコーチ(元プロ野球選手)を招き、4年生がベースボール型学習の基礎・基本である「投げる」「捕る」「打つ」といった動作を学びました。熱中症予防対策として、体育館での実施となりましたが、子供たちは体をいっぱい使ってボールを投げたり、打ったりしていました。この学習を通して、技能の向上だけでなく運動に親しむよさを実感することができたようです。



*交通安全に気をつけましょう

9月21日(土)~30日(月)は、「秋の全国交通安全運動」の実施期間です。千葉市では、今年度7月までに小中学生の交通事故が30件近く発生しています。事故原因としては、「飛び出し」「安全不確認」が多いようです。また、重症(30日以上治療を要する負傷)となる事故が多発していることもあり、学校でも登下校や放課後、休日の交通安全について繰り返し指導しているところです。昨年の4月からは、自転車のヘルメット着用が努力義務とされています。子供たちの大切な体を守るためにも着用をお願いします。

*重機体験(7/5)

生実町にある「千年杉株式会社」の職員の方々が、地域貢献の一環として、本校駐車場の整備と1・2年生を対象にした「重機体験会」を実施してくださいました。子供たちは、狭所・軽作業用の小さなショベルカーを実際に動かし、「楽しい」「かっこいい」とロク々に言いながら体験していました。この機会をきっかけに、将来大きな重機を巧みに動かすオペレーターが生まれるかもしれません。



*「防災の日」について

今から100年前の大正12年9月1日に関東大震災が発生しました。日本では、地震や津波、台風、豪雨、洪水など、自然災害が少なくありません。そのため、1960年に災害に対する認識を深めることを目的に9月1日は「防災の日」として制定されました。また自然災害に対する備えや対策を強化することも目的に含まれています。さらに8月30日から9月5日が「防災週間」として定められており、より防災意識を高める期間となっています。

昨日、学校では地震・津波を想定した避難訓練を実施しました。「自分の身は自分で守る」と言われるように、いつもまわりに大人や友達がいるとは限りません。この機会に、万が一に備えてできることをご家族で話し合っておくことも大切です。

*着衣水泳教室(7/11)

セントラルスポーツの水泳指導員の方を講師に招き、1・3・5年生を対象に着衣水泳を行いました。水の事故から自分のいのちを守るための学習です。水中で衣服を着用した状態だとどのくらい動きにくいかわかたり、着衣のまま歩く、浮く、泳ぐを体験したりしました。普段と異なり、動きにくさを実感していました。

*給食費・学校徴収金の口座振替のお知らせ

第3期給食費等の口座振替ができなかった方に、9月17日(火)に再振替を行います。必要な金額をご用意ください。なお、次回の第4期振替日は、10月25日(金)となります。